



交流会

6月の通常総会の交流会では、保護者が心配していること、子どもの日本語力の問題などについて話し合いを行いました。

【保護者の意見】

- 保見地区の学校には通訳がいるので、子どもたちはちょっとしたことでも通訳に頼ってしまう。保護者対応のために通訳がいるのは分かるが、学習の場に通訳が入ってしまうと、子どもたちは通訳に頼ってしまい日本語が身につかない。自分が学校へ通っていた時は、学校ではポルトガル語は禁止だったので日本語のみ使っていた。
- 保護者が行動を起こさないと何も始まらない。他地域では保見地区のように通訳がないので、自分たちで何とかしなければいけない。保護者も日本人と接する機会を多く作り、日本語を覚える努力をするべきだと思う。子どもたちは保護者のそういう姿をみて日本語を学ぼうとする意欲が高まるのではないかな。



子ども達の国

2018年11月発行 Vol.39



トヨタ自動車(株)EX会
主催のふれあいうォークラリー
に参加しました。

10月20日(土)
愛・地球博記念公園(モリコロパーク)

おじさんたちと森で探検をしました。地図を見て矢印の方に進んで、たくさん歩きました。トンネルや池があって、迷ったりもしたけどちゃんとゴールまで行けました。途中、チェックポイントで、豆つかみ、じゃんけん、色カードのゲームをしたのが楽しかったです。木の名前を覚えたり、どんぐりを拾ったりしながら、たくさん歩きました。また行きたいです。

5年Yさん&Lさん



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の自立支援事業「そら」
木曜日：午後6時30分～8時30分

- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 交流会 年数回開催





「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。
また小学校、中学校とも情報交換を行い、子どもの学習の様子を共有しています。

【A 小学校との懇談の報告】

以下のような個別の情報交換を行なっています。

- ・2年A：国語と算数を取り出している。学習面では特に問題はない。
- ・3年B：算数は計算も文章題もよくできている。日本語の会話が上手になってきていると感じている。
- ・4年C：国語を取り出している。漢字が読めないのが音読が苦手。算数は計算は早くできるが、文章題の漢字が読めないため1人では解けない。分からない箇所は自分から聞いてくる。
- ・5年D：算数を取り出している。算数は前向きに頑張っているが、宿題の提出率が悪い。
- ・5年E：板書もとれていて、算数も手を挙げて発表ができるが、最近学習意欲がなく問題行動が目立つ。
- ・5年F：作文の学習をしたが、まだ1人では書けない。算数はやる気のある時とない時の差が激しい。お手伝いや気遣いは花マル。
- ・6年G：漢字を頑張っている。算数の「速さ、時間、距離」の公式を覚えてほしい。



平成30年度「ゆめの木教室」の体制

入室希望者が増え、待機者が多くなってきています。
平成30年度はこのような新体制で学習支援を行っています。

「ゆめの木教室」卒業生
2人を囲んで記念写真を撮りました。

- ・「ゆめの木教室」に通う期間：約3年
3年以上「ゆめの木教室」に通っていた子ども4人が10月で卒業しました。
- ・時間帯：低学年 15：30～16：30
中・高学年 16：30～18：00
- ・無断欠席はしない。
- ・学習状況の把握のため成績表を確認する。
- ・家庭でも学習場所と時間を作る。
- ・「ゆめの木教室」では必要な学習を優先する。



平成30年度の「そら」は、青少年が集まり、育児の話や子どもの学校の学習の話など様々な情報交換をしています。
中学生組も宿題や課題をがんばっています。

・Sさん

小学生のR1ちゃん学習について話し合いました。学校の教科学習の内容が難しくなっても経済的に学習塾に通わせることはできないそうです。ヤングママSさんに4つの提案をしました。

- ①朝ごはんをきちんと食べさせる。
- ②読書の習慣をつける。
- ③決まった時間に自宅学習をさせる。
- ④学校の行事に保護者も積極的に参加する。



本を読むのが大好きです。

・Hさん

小学6年生まで「ゆめの木教室」で学習していました。保見中学校から大谷高校へ進み、現在名古屋芸術大学の3年生です。来週から伊保こども園での教育実習が始まるそうです。高校から推薦で大学に進み、国の教育学資ローンを利用して頑張っています。

・Aくん

幼少期から保見団地で育ち、「ゆめの木教室」に10年以上通っていました。日本の高校を卒業後、ペルーで大学に通いながらプロのサッカー選手として頑張ってきました。今、短期的に大学の学費を稼ぐために大学を休学して再来日しています。



夏休みに高校生がボランティアにきてくれました。

